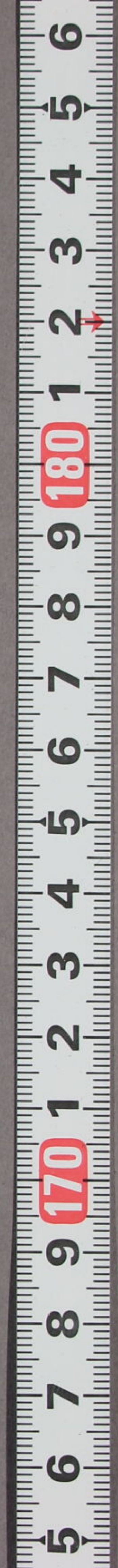




古  
紙  
集

言  
ま  
り  
け  
歌  
仙  
墨  
拓



花勝序

世昔ある<sup>①</sup>成きく<sup>②</sup>以いの<sup>③</sup>き<sup>④</sup>め<sup>⑤</sup>子<sup>⑥</sup>侍<sup>⑦</sup>る<sup>⑧</sup>は  
僧法華持經せし<sup>⑨</sup>子<sup>⑩</sup>慈上の<sup>⑪</sup>ま<sup>⑫</sup>也<sup>⑬</sup>  
あ、<sup>⑭</sup>素<sup>⑮</sup>る<sup>⑯</sup>ま<sup>⑰</sup>し<sup>⑱</sup>一<sup>⑲</sup>孩<sup>⑳</sup>向<sup>㉑</sup>一<sup>㉒</sup>け<sup>㉓</sup>る<sup>㉔</sup>子<sup>㉕</sup>花<sup>㉖</sup>勝<sup>㉗</sup>  
と<sup>㉘</sup>ら<sup>㉙</sup>し<sup>㉚</sup>て<sup>㉛</sup>子<sup>㉜</sup>成<sup>㉝</sup>仰<sup>㉞</sup>と<sup>㉟</sup>ら<sup>㊱</sup>し<sup>㊲</sup>て<sup>㊳</sup>ん  
や<sup>㊴</sup>ら<sup>㊵</sup>あ<sup>㊶</sup>き<sup>㊷</sup>甚<sup>㊸</sup>る<sup>㊹</sup>ぬ<sup>㊺</sup>ち<sup>㊻</sup>佛<sup>㊼</sup>の<sup>㊽</sup>法<sup>㊾</sup>の<sup>㊿</sup>徳<sup>㊽</sup>を<sup>㊾</sup>け<sup>㊿</sup>  
て<sup>㊽</sup>貞<sup>㊾</sup>孝<sup>㊿</sup>の<sup>㊽</sup>心<sup>㊾</sup>を<sup>㊿</sup>成<sup>㊽</sup>あ<sup>㊾</sup>り<sup>㊿</sup>たり

このころに中絶の時に入らへ  
其より出さるゝこの業は法身  
後法は妙くあきらかに  
のりをもくきまひるなる  
さは教の末佛法経路の結  
年始る根末ある何れも  
兜率地をさひ四種の心と

あつたまゝに諸國轉をみ  
轉ひあつたまゝに諸國轉をみ  
記しつゝ翻へる本のまゝを  
借るゝ向ふ我勝の業は  
を隔るゝゆゑ法のゆゑ  
石文はなすゝまゝに  
きはあつたまゝに

めいしん改日と云ふはひとあるも  
好むもこの書一巻を此老世に  
救をさして免て成り又此書の  
中より摘出せしむるを  
後子本の欠の目録なりとの  
語一欠ありてこの作は  
後二二子に不語をいす

④子と云ふ素加の語の欠あり  
うる先哲の風を有請あり此  
混一様子と云ふは  
多くはも離れ味の味  
の正れ書ありと云ふ

海鏡主人



天保五年十月

如膽集

石面

本の... 好も... 崇に... 柳... 今... け...

石

傳... 石... 連... 歎... 竹... 石... 傳... 石...

大勢の幸を極むる月  
あつたはなはた昔より  
かよひなきはなはた昔より  
たまたまのしるしはなはた昔より  
きこえぬはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
女のまゝはなはた昔より  
酒もあはれはなはた昔より

十景  
は川  
花  
一  
一  
一  
一  
一  
一

登り下り日振り日  
月の輝照るはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より  
あはれなきはなはた昔より

魚  
二  
一  
一  
一  
一  
一  
一

来りし世にまゝに...  
棺洞のあへく...  
柩のあき...  
侍者首...  
之方に...  
を...  
な...  
ひ...  
か...

有来  
那堂  
言刀  
於丸  
崇山  
ふ  
ふ  
未  
未

厭...  
坂...  
七夕...  
坂...  
あ...  
く...  
田...  
ひ...  
宗...

什高  
示板  
龜年  
知  
之梁  
枕  
一  
一人

山に旁まのりかゝるる  
 けらあつゝのまのり  
 甚くしるるまのり  
 春のめりまのり  
 ちりまのりまのり  
 みるよりのまのり  
 えんりのまのり  
 むの〜のまのり

一周  
 只我  
 錦塔  
 まのり女  
 同  
 里橋  
 二河  
 ち鬼

えん二仲もら びんるるる

山に旁まのりかゝるる  
 けらあつゝのまのり  
 甚くしるるまのり  
 春のめりまのり  
 ちりまのりまのり  
 みるよりのまのり  
 えんりのまのり  
 むの〜のまのり





布土物末樹下  
こゝのちよひまひ  
なみゆるや  
ふゆふゆ  
おしるふゆ  
ゆゆゆ

ゆゆゆ  
ゆゆゆ  
ゆゆゆ  
ゆゆゆ  
ゆゆゆ

てをいひておのづから  
なまのうらみは、  
ほろびしるる

芭蕉

ふみおのづから  
おのづから  
なまのうらみは、

嵐廬

おのづから  
なまのうらみは、  
おのづから  
なまのうらみは、

塔山

おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから

良

おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから

嵐廬

おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから  
おのづから

芭蕉



うさぎのうさぎ

鶺鴒

うさぎのうさぎ

鶺鴒

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ

鶺鴒

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ

うさぎのうさぎ



嗚呼  
けり  
元氣  
元氣  
元氣

八之六  
二一

曾良何系うけあはらあき  
うらもの居をきあへるれ  
あにさしつるを我とい物  
いとむいむあまの物た  
うけなるりちをを廣は  
あまのうらむるをた  
性陽あをこのむく文

金にせしむるあはれなるを

いふやうにせしむる

あはれなるを

いふやうに

たにせしむるあはれなるを

清和天皇

四書混雑三三三

おのころいふおのころいふ  
保言館

あはれなるを  
松橋

あはれなるを

あはれなるを  
松橋

あはれなるを  
松橋

あはれなるを  
松橋

あはれなるを  
松橋



鳳池  
三子竹  
一肖  
奇園  
井眉  
葵岳  
千崖  
西月  
林曹

大拳  
前推

東海

省吾  
菊下  
松雪  
如樵  
梅香  
沙濤

鳳池

三子竹

一肖

奇園

井眉

葵岳

千崖

西月

林曹

大拳

前推

省吾

菊下

松雪

如樵

梅香

沙濤



人  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

琴瑟

一終

無私

無私

恭讓

柔順

素行

耀月

六响

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○  
○

席山

新子

一翫

方按

風潮

公臧

漢劫

盛衰

抱像





新築の御座り候へば  
此の御座り候へば  
乙人  
の布  
毒子  
茅丸  
高島  
雷村

新築の御座り候へば  
此の御座り候へば  
乙人  
の布  
毒子  
茅丸  
高島  
雷村

おのり  
孤  
井  
素  
子  
相  
公  
孫

おのり  
孤  
井  
素  
子  
相  
公  
孫

~~~~~

倍凡

~~~~~

~~~~~

善心

~~~~~

菊十

~~~~~

万々

~~~~~

大掃

~~~~~

滑南

~~~~~

香露

~~~~~

庭前

~~~~~

花下

~~~~~

溪石

~~~~~

然泉

~~~~~

与人

~~~~~

一

~~~~~

日人

~~~~~

善心

~~~~~

万々

~~~~~

~~~~~

善心

~~~~~

お揚

~~~~~

お環

~~~~~

お福

~~~~~

お高

~~~~~

お城

お勝

~~~~~

お直

~~~~~

お直

~~~~~

西馬

~~~~~

お老

お入

~~~~~

~~~~~

お汁

~~~~~

お若

~~~~~

お三

~~~~~

お汁

~~~~~

お人





Handwritten cursive script on the right page, consisting of approximately 10 lines of text.

人 才 三 人 汁 之 才 汁 人

Handwritten cursive script on the left page, consisting of approximately 4 lines of text.

汁 才 三 人

Handwritten cursive script on the bottom left page, consisting of approximately 5 lines of text.

崇 禛

高麗の海

本島の西に海ありて其の深き

所ありて舟楫の便あり

其の東に海ありて其の深き

所ありて舟楫の便あり

其の南に海ありて其の深き

所ありて舟楫の便あり

其の北に海ありて其の深き

高麗の海

何一處に

信陽の海に舟楫の便あり

信陽の海に舟楫の便あり

信陽の海に舟楫の便あり

信陽の海に舟楫の便あり

信陽の海に舟楫の便あり

信陽の海に舟楫の便あり



一、*Handwritten text in a cursive script, likely a list or index.*  
二、*Handwritten text in a cursive script.*  
三、*Handwritten text in a cursive script.*  
四、*Handwritten text in a cursive script.*  
五、*Handwritten text in a cursive script.*  
六、*Handwritten text in a cursive script.*  
七、*Handwritten text in a cursive script.*  
八、*Handwritten text in a cursive script.*  
九、*Handwritten text in a cursive script.*  
十、*Handwritten text in a cursive script.*

一、*Handwritten text in a cursive script.*  
二、*Handwritten text in a cursive script.*  
三、*Handwritten text in a cursive script.*  
四、*Handwritten text in a cursive script.*  
五、*Handwritten text in a cursive script.*  
六、*Handwritten text in a cursive script.*  
七、*Handwritten text in a cursive script.*  
八、*Handwritten text in a cursive script.*  
九、*Handwritten text in a cursive script.*  
十、*Handwritten text in a cursive script.*





Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the notebook.



夢遊八景

Handwritten text within a rectangular border on the right page, possibly describing the 'Eight Views of a Dream'.

Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text on the left page.

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.



新代七思像

下滴井

十号

城跡

井貫

~~~~~

~~~~~

新代の新の

~~~~~

青丸

赤丸

~~~~~

~~~~~

あ作の

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

捕井

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

湖邊

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

葛葉科

一 孫

方快

田へ

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

部井

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

素直木、女も——あるところ 指し

幾んど 附言

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script on the left page, consisting of approximately 12 lines of text.

子思  
妻吉  
弟七  
一后  
多化  
夏居  
家居  
素方  
地同

Handwritten cursive script on the right page, consisting of approximately 12 lines of text.

多變  
微序  
岳松  
月居  
巢元  
乃居  
半化  
無村  
貞活



Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 12 lines of vertical script.

古節  
る非  
玉層  
深く  
喜阿  
角心  
代  
色露

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 12 lines of vertical script.

士郎  
作六  
そ角  
赤重  
穀汁  
古老  
正阿  
松乙  
舌埴

Handwritten cursive text on the right page of the notebook, consisting of approximately 12 lines of characters.

南江  
喜塚  
石牙  
善三  
種輔  
お教  
芳之  
号山  
魚次

Handwritten cursive text on the left page of the notebook, consisting of approximately 12 lines of characters.

一菊  
車書  
宜子  
魚書  
家言  
美人

法抄の御書

Handwritten cursive text at the bottom of the left page, appearing to be a signature or a specific note.

宗 福

持者の福と云ふ事  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり

件六  
夫子  
雙彦  
東文  
方四  
左造  
毛三  
養生  
自樂

持者の福と云ふ事  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり  
海に自らの心  
大の事なり  
同の事なり  
船中の事なり

乙二  
養生  
毛三  
左造  
方四  
東文  
雙彦  
夫子  
件六

海のほとけのしるし  
 我のしるし  
 湯のしるし  
 朝のしるし  
 雲のしるし  
 花のしるし  
 鳥のしるし  
 虫のしるし  
 魚のしるし  
 石のしるし

1日  
 雲のしるし  
 花のしるし  
 鳥のしるし  
 虫のしるし  
 魚のしるし  
 石のしるし

七巻



何處へ行くに當りては  
大工の小屋へ入るに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては

角 角 角 角 角 角 角 角

代 代 代 代 代 代 代 代  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては  
此の如くは持て置くに當りては

角 角 角 角 角 角 角 角

此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり

此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり

此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり  
 此の道は海軍の道なり

此の道は海軍の道なり

八幡  
 藪  
 梅壘  
 如春  
 白雲  
 暮  
 石  
 心  
 暮  
 暮  
 暮

暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮

海羽の歌

東渚  
 亀成  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮  
 暮

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.

白  
一  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.

有  
兄  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 12 lines of characters.

平分  
信富  
巨依  
如椽  
まじ女  
如是  
授一  
法山  
豆桑

Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 12 lines of characters.

梅枝  
法海  
巴忒  
志城  
仙佳  
杉岩  
杉岩  
杉朗

Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 10 vertical columns of characters.

景相  
卷  
三省  
敬高  
文張  
幾  
九地  
自  
...

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 10 vertical columns of characters.

...

白兔... 花... 花...

寒尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾

花... 花... 花...

花尾







草花のついでに梅の花  
のついでに桜の花  
のついでに桃の花  
のついでに李の花  
のついでに杏の花  
のついでに梨の花  
のついでに枇杷の花  
のついでに橘の花  
のついでに柚子の花  
のついでに柿の花  
のついでに松の花  
のついでに竹の花  
のついでに梅の花  
のついでに桜の花  
のついでに桃の花  
のついでに李の花  
のついでに杏の花  
のついでに梨の花  
のついでに枇杷の花  
のついでに橘の花  
のついでに柚子の花  
のついでに柿の花  
のついでに松の花  
のついでに竹の花

南条  
多代丸  
山つゆ  
乙牛  
久仙  
花器  
看志  
埴丸  
杉枝

大川と城のついでに梅の花  
のついでに桜の花  
のついでに桃の花  
のついでに李の花  
のついでに杏の花  
のついでに梨の花  
のついでに枇杷の花  
のついでに橘の花  
のついでに柚子の花  
のついでに柿の花  
のついでに松の花  
のついでに竹の花  
のついでに梅の花  
のついでに桜の花  
のついでに桃の花  
のついでに李の花  
のついでに杏の花  
のついでに梨の花  
のついでに枇杷の花  
のついでに橘の花  
のついでに柚子の花  
のついでに柿の花  
のついでに松の花  
のついでに竹の花

一歩  
杉枝  
花器  
看志  
埴丸  
杉枝  
款汁  
角

田く  
 一  
 一  
 松葉  
 魚  
 川  
 居  
 二  
 一敬

之  
 唐  
 傳  
 連  
 人

音

音  
 音

日ツキの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
春ハルの風カゼに吹フたるる花ハナは  
雨アメの音ネに聞クこえぬ花ハナは  
雪ユキの白シロに染シメるる花ハナは  
霧キリの白シロに染シメるる花ハナは  
露ツルシの白シロに染シメるる花ハナは  
月ツキの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
星ホシの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
雲クモの白シロに染シメるる花ハナは  
霞カサミの白シロに染シメるる花ハナは  
霧キリの白シロに染シメるる花ハナは  
露ツルシの白シロに染シメるる花ハナは

人 花 人 花 人 花 人 花 人 花 人 花

風カゼの音ネに聞クこえぬ花ハナは  
雨アメの音ネに聞クこえぬ花ハナは  
雪ユキの白シロに染シメるる花ハナは  
霧キリの白シロに染シメるる花ハナは  
露ツルシの白シロに染シメるる花ハナは  
月ツキの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
星ホシの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
雲クモの白シロに染シメるる花ハナは  
霞カサミの白シロに染シメるる花ハナは  
霧キリの白シロに染シメるる花ハナは  
露ツルシの白シロに染シメるる花ハナは  
月ツキの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
星ホシの輝ヒカリに照スらるる花ハナは  
雲クモの白シロに染シメるる花ハナは  
霞カサミの白シロに染シメるる花ハナは  
霧キリの白シロに染シメるる花ハナは  
露ツルシの白シロに染シメるる花ハナは

人 花 人 花 人 花 人 花 人 花 人 花

清く静く女を待たぬまゝに  
おはしむるはふとまを  
居るはふとまをいふは  
まゝに  
日  
あ

人阿若人阿若人

あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを  
あまのこころをいふはふとまを

人阿若人阿若人

海か

カヒ 浦

スハ 岩

コソラ 山

アミシ 浦

カタラ 我

イタシ 前

マ 子

マミキ 浦

カヒ 不意

カ 石

カ 柏舟

カ 松人

カ 小舟

カ 巴胡

カ 木

カ 石

カ 矢



伊法精舎の元よりおぼろ  
のをくらしむしきさのこころ  
く鑿望する所もねくらぬを  
さちよあきしそ七やに祈請に  
事なりて福ありすいほしん  
かかすののさくしと指  
をくつ物院なりこころおし  
くつ身をまゝおぼろぢ一持

塔の敷人の輝きまけ  
福の御託をいほせし  
くつ洋舟のよめ  
あめさきねくらす  
かたふさふさくその  
くつしきおぼろぢ  
あめさきねくらす  
あめさきねくらす



多々金に如くして、持して  
撰出さるるに母を以て、  
名てす。その句、その句、  
は、花、と、時、と、子、の、名。



梅雪子心所著

